

校種・教科等	高校・看護	受審番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

『看護科』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 1年1組教室
 (3) 学年・学級 第1学年1組(30名) 使用教科書(高等学校用 基礎看護 文部科学省)
 副教材 (新看護学7 基礎看護[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院)

- (4) 単 元 名 第3章 日常生活の援助 第8節 衣生活 (文部科学省)

- (5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

衣生活を学習するために必要な内容については学習済み(人体の機能と構造、基礎看護(日常生活の理解、環境調整、食事と栄養、排泄の援助、活動・運動、休息と睡眠、身体の清潔))。

【単元のねらい】

衣服と健康の関わり及び対象に応じた衣服の選択の条件と交換の必要性を理解させ、対象の状態に応じた衣服の着脱方法に関する知識と技術を習得させる。

【生徒の状況】

看護に対し興味関心を持ちまじめに取り組むが、理解力は生徒間で差が大きい。また、日常生活体験が少なく、イメージする力が乏しいので技術の習得には時間を要する。

- (6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次(1時間)	【衣生活の意義】 ・衣生活の意義を理解する。	一斉 個別 班またはペア	知識・技術
第2次(1時間)	【患者の衣生活への援助】 ・病床における衣服の機能と対象に応じた衣服の選択の条件について理解する。	一斉 個別 班またはペア	思考・判断・表現
第3次(4時間) (本時1/4)	【寝衣交換】 ・寝衣交換の目的と留意点を理解する。 (1時間:本時) 教科書p. 214 副教材p. 60-61	一斉 個別 班またはペア	知識・技術 思考・判断・表現
	【寝衣交換の方法】 ・理由や根拠を踏まえた安全・安楽な寝衣交換の方法を理解する。	一斉 個別 班またはペア	知識・技術 思考・判断・表現
	【寝衣交換の援助】(実習2時間) ・留意事項を理解し、患者にあった適切な方法で安全・安楽、効果的に実施する。	一斉 個別 班またはペア	知識・技術 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。